

## 6、7 世界の食料安全保障や気候変動問題等への対応

【4,201(4,250)百万円】

### 対策のポイント

- 世界の食料生産・投資を促進し、我が国及び世界の食料安全保障に貢献します。
- 途上国の農林水産分野における気候変動の緩和策や適応策の支援を推進します。

### <背景／課題>

- ・世界の栄養不足人口が10億人に達するなど、食料安全保障は国際的に重要な課題です。この問題の解決のため、世界の食料生産及び農業投資を増加することが重要です。
- ・途上国は生計の多くを一次産業に依存し、農業や森林減少等による温室効果ガスの排出が国全体の排出の大部分を占めており、気候変動問題への対応が急務となっています。

### 政策目標

- 我が国及び世界の食料安全保障の確立に向けた貢献
- 気候変動問題等への適切な対応

### <主な内容>

#### 1. APEC食料安全保障担当大臣会合等の開催 244(0)百万円

日本が議長国となる2010年に、APECメンバーの閣僚レベルで食料安全保障について議論するAPECで初の食料安全保障担当大臣会合を開催します。

#### 2. 世界の食料安全保障や気候変動問題等に対応するための国際協力

3,956(4,250)百万円

##### (1) 世界の食料安全保障の確立に向けた貢献

- ① 国連食糧農業機関（FAO）を通じて、世界の農業投資を促進するための情報収集や投資ガイドンス作成等の仕組み作りを進めます。

食料供給力強化に資する国際的枠組み検討事業 93(96)百万円  
事業実施主体：FAO（国連食糧農業機関）

- ② 西アフリカ地域での食料不足の解決に向けて、同地域の主要作物であるササゲ（マメ科の一種）の種子増産及び技術移転を推進し、更なる収量向上を図ります。

アフリカ半乾燥地帯における食料増産のためのササゲ新品種の導入 33(0)百万円  
事業実施主体：IITA（国際熱帯農業研究所）

##### (2) 気候変動に対する農林水産分野の緩和策・適応策の推進

- ① 持続可能な森林経営に向けた途上国の取組の現状を国際社会が把握できるよう、途上国が自国の森林や森林政策について報告する能力の向上支援を行います。

国連森林フォーラムプロセス支援プログラム 50(0)百万円  
事業実施主体：FAO（国連食糧農業機関）

- ② 東アジアやアフリカにおいて、地域のバイオマスを有効活用するための調査や計画づくりを支援します。

東アジア等におけるバイオマス利活用推進事業 34(0)百万円  
事業実施主体：民間団体等

お問い合わせ先：

1の事業 大臣官房国際部経済連携チーム(03-3501-3731(直))

2の事業 大臣官房国際部国際協力課 (03-3502-5913(直))

# 農林水産分野の国際協力の推進

## ポイント

世界の食料生産・農業投資を促進し、食料安全保障に貢献。  
農林水産分野における気候変動の緩和策・適応策の支援を推進。

## 背景

2050年の  
人口(推計)

**91億人**

(国連による推計)

現在の栄養不足  
人口(推計)

**10億人**

(FAOによる推計)

世界の人為起源の  
温室効果ガスのうち、  
農林業の占める割合

**31%**

(IPCC報告書)

## 施策

### ○APEC初の食料安全保障担当大臣会合等の開催 【244 百万円】

- ・世界のGDPの5割、人口の4割を占めるAPECにおける我が国のリーダーシップの発揮
- ・新たな将来ビジョンに食料安全保障の重要性を位置づけ
- ・持続可能な農業、多様な農業の共存に関する理解の促進

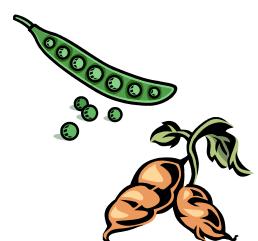
平成22年10月16-17日  
新潟市にて開催予定



### ○世界の食料安全保障や気候変動問題等に対応するための国際協力 【3,956 百万円】

#### (1)世界の食料安全保障の確立に向けた貢献

- ・FAOを通じた農業投資の情報収集、投資ガイドの作成
- ・アフリカにおいて米倍増に加え、マメ、イモの増産を検討 等



#### (2)気候変動問題への適切な対応

- ・途上国における持続可能な森林経営のための能力向上支援
- ・東アジアやアフリカのバイオマス資源を有効活用するための調査や計画づくりの支援 等

